



学校だより

おっぴ

半田市立乙川東小学校

第8号

令和7年10月24日

発行責任者：福島 富美

校訓 たくましく 心ゆたかに 大きくのびよう



幸せとは生きること

－「いのちの授業」で思ったこと－



ハッピーウィーク(10/1～10/7)の学校公開で、「幸せ」について考える授業が各学級で行われました。

そして、午後からは、全員体育館に集まって「いのちの授業」を行いました。講師は、鈴木中人さん。小児ガンで亡くなった娘さんと家族の話をしてくださいました。6歳の女の子に「死」が訪れるまでの家族の日々は、子どもたちの心に、今まであまり感じたことのない感情を抱かせてくださいました。振り返りの「いのちカード」に書かれた子どもたちの言葉の一部です。

・いのちってこんなに大切なんだな。いのちは、一回しかつかえないのか。 ・今までながしたことがないくらい、なみだのりょうが出ました。 ・いのちは一人じゃささえきれないからみんなにささえてもらおう。 ・いのちにはルールがある。いのちはやがてなくなる。でも、お父さんやお母さんよりもぜったいに早く死んではいけない。 ・死んじゃうと冷たくなることをはじめて知りました。 ・「いのちを神様にもらう」→「せいいっぱい生きる」→「やがて死ぬ」の繰り返しなんだな。 ・かぎられた時間の中でも、幸せに生きられるよういのちはかがやく。がんばる。 ・いのちとみんなという今この時を大切にしよう。 ・生きていることは当然だと思っていたけど、本当はどんだけ幸せか、どんだけ楽しいかわかるようになった。 ・お話を聞いたら、お父さんやお母さんがすごく大事に思えた。 ・死にたいときに死ぬんじゃないくて、「死ぬまで生きる」をちゃんとおぼえていたい。 ・生きることによって幸せとつながりを感じた。 ・これからは苦手な人とも話しかけたり関わってみたりしようと思った。 ・けいこちゃんは、耐えて泣いて笑って喜んでたいへんだけど、とっても楽しい人生を送れたと思う。 ・今まで「明日は大丈夫かな」と心配してたけど、これからは「今を生き抜くぞ」という気持ちで生きていこうと思う。 ・前からのいのちは大切とは知っていたけど、考え方が変わりました。 「いのちは自分次第。自分から守っていかないといけない」 ・いのちに限りはあるけれど、終わりまで生き抜く、という大切なことを知った。 ・今まで簡単に「死にたい」とお母さんに言っていた。今日、話を聞いて、お母さんは悲しかったのかな、と思うと泣けてきました。これからは絶対に言いません。

温故知新

乙川東小の中庭は、小さい丘があったり岩がおかれたりいろんな種類の木が植えられたり、他の学校にはあまりみられない個性的な中庭です。



昭和53年に「愛知の庭」が刈谷市建設高等職業訓練校から、この中庭に移設されました。その後、校舎の増築などにより形は変わってしまいましたが、今もなお、起伏や岩の置き方にその名残が感じられます。小鳥のさえずりが聞こえ、きれいは花や実がなる木がたくさんあって、私もお気に入りの場所の一つです。



愛知の庭 略画



修学旅行

9/30~10/1

奈良・京都

最高の思い出です。



法隆寺の中門 りっぱな門！



旅館の食事 たくさん食べました



お土産 何を買おうかな



若草山 奈良公園を一望できます

学校だより「おつひ」はHPにも掲載しています。ご活用ください。

乙川東小学校HP <https://www.okkawahigashi-e.ed.jp/>